

〔めざす子ども像〕

- ・夢や希望を持っている子ども
- ・心豊かに生きる子ども
- ・たくましく生きる子ども
- ・「伊豆っ子宣言」に基づき、ふるさと伊豆市の良さに気づき、地域の一員としての自覚を持つ子ども

未来を創造する 伊豆人(いずびと)づくり

〔第2次伊豆市総合計画 後期基本計画(2021~2025)〕

- (1) 社会でよりよく生きていくための教育環境づくり (ICT・ALT・実学等)
- (2) 幼児教育と学校教育の連携強化
- (3) 新中学校づくりと連動した学校間の連携・交流の充実
- (4) 安心安全な通学環境の整備

〔新中学校整備基本構想〕新中学校開校に向けて、よりよい伊豆市の教育環境を具現化する

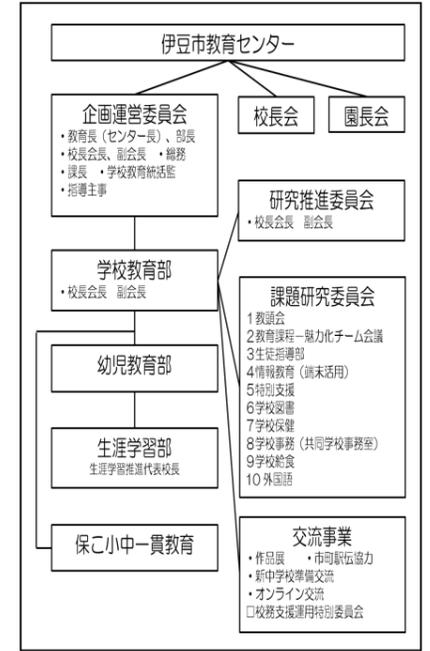
伊豆人とは「伊豆市で育ったことを誇りを持って人に伝えることができる人」

目指す伊豆人(いずびと)として 育成したい力	15年間の学びのフィールド 重点項目	本年度のねらい 具体的な手立て
<p>知 「生涯学び続ける力」「創造する力」を高める</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①子どもの可能性を伸ばす個別最適な学びの実践 ②多様な集団による協働的な学びの実践 ③論理的思考力・表現力を伸ばす授業の実施 ④伊豆市のひと・もの・ことを活用する学習活動 ⑤新しい時代に向け自分の夢や未来を思い描く学習活動 	<p>◎伊豆市を舞台とした、持続可能な自然(環境)、社会、経済、職業、福祉、防災、歴史・文化を学ぶ総合的な学習の時間の実施 (伊豆市の良さを語り、自分の取組で伊豆市の未来を創る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主役となる授業改善「教える」から「子供が学ぶ授業」へ ・次世代に対応した教育の推進 (ICT活用、英語・情報教育の充実、教科横断的カリキュラムの実践) ・特別支援教育の視点を生かした、誰一人取り残さない多様な学びへの対応 ・全国学力、学習状況調査、伊豆市共通テストの分析・活用・改善 ・伊豆市や他地区の人材を活用した、夢を育てる9年間を見通したキャリア教育の実践 ・学校図書館、市図書館を活用した探究学習の実践
<p>徳 「豊かな心」「関わり合う力」を養う</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①互いのよさや違いを尊重し、成長を促す交流活動の充実 ②自分で決め、みんなで作り上げる学校行事の実施 ③子供が安心・安全な居場所、セーフティネットづくりに向けた組織や指導体制の推進 ④いじめや不登校に対する相談体制や包括的支援の充実 	<p>◎異年齢や他校、他地区とのふれあい・意図的な交流活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自慢としている「思いやり」や「挨拶」のさらなる実践化 ・市内共通の生活や学習の約束づくりとその定着 (メディアリテラシーの育成) ・子どもが大好きな学校行事の精選と充実 (目的、実施形態の検討) ・子どもの自己肯定感を高めるためのQ Uや定期的な生活アンケートの実施と活用 ・不登校傾向や問題を抱える子供に対する、SC、SSW、特別支援コーディネーター等との連携推進 ・「命を守る」ための教育の推進と組織的対応による「居場所」づくり ・生徒にも、教員にとっても、活動しやすい部活動の改革
<p>体 「健康や環境を自ら調整する能力」「健やかな体」を育てる</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①たくましさの育成に向けた挑戦を支える環境づくり ②健康リテラシー教育と生活習慣の改善 ③オリ・パラレガシー事業を軸としたスポーツ教育 	<p>◎目的を持った継続的な体力づくりと健康な体づくりの推奨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教育を通じた体力向上施策の実践、新体力テストの実施と分析 ・自らの健康を発達段階に応じて保持・増進する力の育成 (ゲームやスマホの利用のルール) ・オリンピック・パラリンピックに関連したフェアなプレイを大切にするなどのスポーツの意義理解 ・学校安全計画と危機対応マニュアルの見直しおよび防災体験活動等の推進

信頼される職員集団・活力ある職員集団の育成

- ① 教職員の資質向上を図る
- ② 職場の労働安全衛生と働き方改革への取組の推進
- ③ 不祥事根絶への取組の継続

伊豆市教育センターによる活動の充実

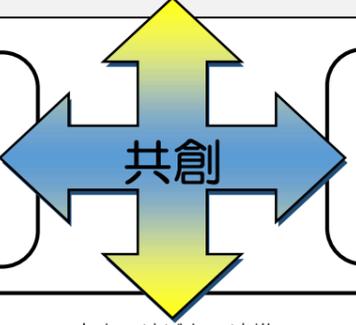


縦の接続 (こども園・保育園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校が連携した一貫教育)

- ・保こ小中高のふれあい、交流事業 (子ども及び職員)
- ・スタートカリキュラムの充実
- ・保こ小中から高まで連続したキャリア教育
- ・目に見える共通の取組の検討 (挨拶等)
- ・地域貢献活動のカリキュラム化の検討

横の連携 (保こ連携・小小連携・中中連携)

- ・授業、テスト、学校行事、修学旅行等の交流 (新中学校開校の開校を契機とした事業)
- ・新中学校を中心とした「ふれあい・交流」についての研究実践
- ・共通テスト、博士テスト、新体力テスト等の結果の共有による切磋琢磨
- ・子供と向き合う時間の確保に向けた、働き方改革を意識した業務改善の共有



他の組織・機関との協働

- ・近隣の市町との情報交換
- ・ジオを介した他地区との連携
- ・大学や専門機関からの新しい学び
- ・市図書館との連携

家庭・地域との連携

- ・朝食摂取の徹底と食に関する指導の充実
- ・共に「命を守る」ための防災教育の推進
- ・新中学校の通学も考えた通学路の安全点検・見直し
- ・コミュニティ・スクールによる学校や地域の活性化
- ・総合的な学習の時間、キャリア教育のための人材バンクづくり

参考資料

- ・第2次伊豆市総合計画
- ・伊豆市教育大綱、伊豆っ子宣言
- ・新中学校7つのコンセプト
- ・学校魅力化アンケート (子どもの思い)
- ・教育センター研修会 (教職員の思い)
- ・伊豆市の教育を考える会
- ・第4期教育振興基本計画
- ・「令和の日本型教育」の構築を目指して 等

※【徳】の具体的な手立ての下線部：SC—スクールカウンセラー、SSW—スクールソーシャルワーカー